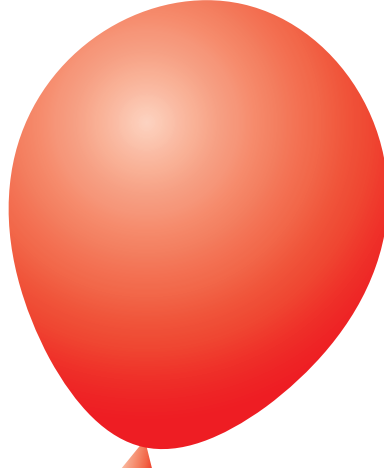


第2回ケアラー支援講演会in広島

ケアする人をケアするために。
With 素人介護劇団はびねす座旗揚げ公演



さまざまな立場のケアラー(家族など無償の介護者)が、率直な思いを、いま語り始めています。

なぜケアする人への支援が必要なのでしょう。どのような支援が望まれているのでしょうか。いっしょに考えてみませんか。

【プログラム】

●はびねす座公演:ケアラーの赤い風船

●講演1:障害のある子をもつ親として
ケアラー支援に望むこと

兎玉真美(日本ケアラー連盟代表理事)



1956年生まれ、呉市在住。京都大学卒業。翻訳・著述業。1987年生まれの子に重症心身障害がある。著書に「私は私らしい障害児の親でいい」(ぶどう社)、『海のある風景—重症心身障害のある子どもの親であるということ』(生活書院)など。一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事。

●講演2:男性介護者への支援を考える

戒世伊次(広島市男性介護者の会連絡会代表)

●講演3:介護者支援とカフェの役割

北川朝子(家族介護者サポートネットワークはびねす代表)

《コメンテーター》

手島 洋(県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科講師)

問い合わせ ▶ E-mail: happiness.carers@sky.megaegg.ne.jp

日時 ▶ 2019年1月26日(土)

13:00~15:30(開場 ▶ 12:30)

会場 ▶ 広島市総合福祉センター5階ホール

(〒732-0822 広島市南区松原町5番1号)

BIG FRONTひろしま)

参加費 ▶ 500円(資料代/事前申し込み不要)

※広島市高齢者いきいき活動ポイント事業の対象です。ポイント手帳をお持ちください。

地図

共催: 一般社団法人日本ケアラー連盟/特定非営利活動法人家族介護者サポートネットワークはびねす/
広島市男性介護者の会連絡会/素人介護劇団はびねす座